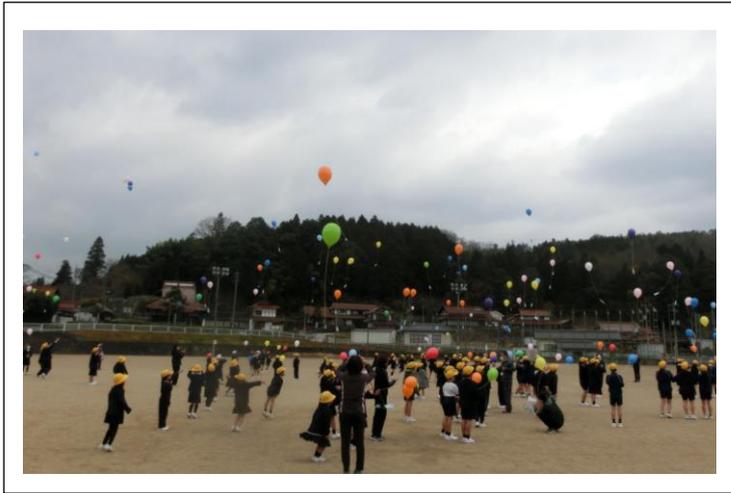


～みなさん「想い」を聞いてください～



この便りがみなさんのお手元に届くころは、もしかしたら雪が既に降っている頃ではないでしょうか。近年は、環境の変化により冬らしくないシーズンが続いています。これも人間がもたらした、地球温暖化の影響によるものなのではないでしょうか。

今年の春ごろは、皮肉にもコロナ禍により、経済活動が停滞し、世界のあるところでは、例えば、大気の汚れが改善したみたいな報道もされました。環境問題は、世界的に大きな課題の一つです。これから子や孫に少しでも良い環境で、「地球」を次の世代に引き継ぎたいとの思いは、共感いただけることだと思います。少しでも地球にやさしい取り組みを身近なところから行いたいと思います。



◆「エール」に共感し、「50カ国批准」に驚嘆（八島指導員）

今年の私の記憶に残るテレビ番組と言えば、NHK連続テレビ小説『エール』が一番手にきます。おそらく、皆さんもわたしと同じように、この番組を毎朝ご覧になられた方は、少なくないと思います。このドラマは、福島出身の作曲家古関裕而氏をモデルにされた小説です。今年は、コロナ禍の影響で、当初の予定から10話減らし120話とし、11月27日まで放送されました。この番組は、印象深い番組となりました。理由は、この番組に出演されていた（私の年代にはとても懐かしい、「8時だヨ！全員集合」でお馴染み）志村けんさんのコロナ感染症による突然の訃報です。思わず「え～」と大きな声がつい出てしまいました。今でも信じられません。

他の理由として、祖父の生きた時代と重なり、共感や感動する部分が多かったことです。10月に放送された番組の時代背景は、第二次世界大戦下の頃を中心に描かれています。ある日の放送の中で、主人公、裕一の恩師の先生が、敵の攻撃を受けて、裕一の目の前で亡くなるシーンがありました。このシーンで見たことのない祖父（第二次世界大戦下、ニューブリテン島ラバウル港内で敵機の空襲を受けて戦死）を想像して、祖父の最後も「このようなものだったのか」と思い浮かべて見ていました。祖父は、最後何を思ったか、何を望んだか、知りたくなりました。自分だったらと考えた時、おそらく「ふるさとに帰りたい」「家族・子どもに会いたい」と考えたと思い

ます。そう思うと、胸が熱くなり（恥ずかしながら）自然に涙があふれてきました。写真で見たことはあれど、会ったことも、触れたこともない祖父に対して、深い感情をいadakouとは思ってもみませんでした。父、祖母を通しての繋がりがもたらした感情であったかなと感じました。

終戦そして、原爆投下から75年目の今年、「核兵器禁止条約1月発効」「50カ国・地域批准」「日本は不参加」、10月26日の新聞の活字が目にとまりました。10月24日核兵器禁止条約の批准国・地域が、発効に必要な50に達した知らせです。来年1月22日に発効する、核兵器を非人道的で違法と断じる初の国際規範が生まれるものです。「核なき世界」の実現に向けた大きな前進です。祖父もきっとこのニュースを喜んでいるのではないのでしょうか。

記憶に残る世界人権宣言72周年となりました。次世代に引き継ぐもの「核なき世界」、引き継いではいけないもの「戦争」「核兵器」、改めて戦死した祖父の想いを考え、自分のできることを問い続け、実行していきたいと思ひます。

突然ですが



◆「はいせつ」のお困りごとはありませんか？（田村相談員）

使い捨てが出来る紙おむつは便利ですよ。でも、今、布製のパンツ・ホルダー（尿取りパッドを固定するもの）の良さも見直されているそうですよ

布製アウターのここがイイ！

- ★下着として体になじむ、伸縮性フィット感がある、おむつに見えない
- ★股間のゴロゴロ感が少なく、足が閉じやすい
- ★紙と比較して、通気性が良く、心地が良い
- ★繰り返し洗濯するので、ゴミが軽減できる、お財布にも優しい
- ★動くたびに紙の音がある、後姿がおしりゴワゴワなどの不快感から解放され、外出も楽しくなる。



男性用です。普通の下着に見えますよね。右の女性用と同様に前が開くので、尿取りパッドの取り換えが簡単に出来ます。

女性用です。おむつには見えませんよね。この様に尿取りパッドをしっかりと固定するようになっています。



パッドを入れます

センターに展示してありますので、どうぞお気軽に、見て、触って、知ってください。色々な物、方法、考え方があることを知って頂きたく、ご紹介をしました。